



# しののめだより

令和5年度第9号

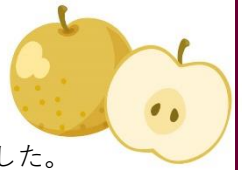
令和5年9月11日発行

富士東高校情報交換ひろば

秋の味覚がたくさん出回っていますが、現実はまだまだ厳しい残暑、残暑、残暑…。先日、「しののめ探究」で2年生を対象にした講演会がありました。講師は、静岡県立大学副学長 酒井 敏 先生です。哲学の世界に引き込まれるようなお話で、じっくり頭を使いながら聴講しました。

さて、生徒たちの振り返りの素晴らしいこと。酒井先生がどのようなお話をされたのか、それを生徒がどのように受け止めたのかが分かる記述がたくさんあり、読ませてもらって（感動して）唸りました。

今回は、その一部を御紹介します。全員分の紹介ができずすみません！



## 講演「誰一人として取り残さない」静岡県立大学副学長 酒井 敏 先生【2年生振り返り(抜粋)】

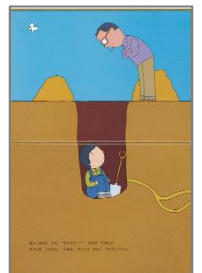
谷川俊太郎さんの絵本「あな」は最初は意味が分からなかったけど先生の解説を聞いてそういうことなんだなと思いました。まず時間があるから穴を掘ろうと考えるとところから面白いなと思いました。(Aさん)

あなの絵本で、意味もないのに何故かやっているという話を聞いて自分もこんなことがあるなと感じました。(Nさん)

私も少しだけあなを掘ってみたいと思った。(Iさん)

あなの本のお話で、目的は分からないけど挑戦してみて気づくこともあるからやってみることは大事だと思いました。(Kさん)

絵本「あな」  
谷川俊太郎



穴をほって入ることは意味ないように見えるけど、やってみると意外な気づきがある。何にもせずとも、自然と何かおこる。世の中にはいろんな意味ないように見えることがあるけど行動すれば、たくさんの意味を見つけることができるということなんだと思いました。迷ったらまずはやってみるようにしていきたいです。(Hさん)

意味の無いものに意味を持たせることで生物は成長をしてきた、ということを知ることが出来ました。幸せが楽しさなのだしたら私は今幸せです。そして、あとから正しさをつけられるような人になりたいです。(Aさん)

幸せ

自分が思う幸せが周りにとっても幸せだとは限らないから、周りを幸せにすると言うより、まずは自分が幸せになっておすそ分けをするという考えがいいと思いました。(Sさん)

自分のことをまず幸せにするこの大切さというのが一番心に残りました。普段は相手のことを先に考えがちだったけど自分のことがわからなきゃ相手のこともわかってあげようと思わないんじゃないのかなと思いました。(Yさん)

何かを始める時はまずは自分が楽しみ、自分自身の充実感を高め影響させていくことが大切なのだと思います。自己犠牲なんてしなくてもみんなが幸せに暮らせる世界になればいいなと思った。(Tさん)

自分が幸せで楽しく生きていけば周りの人へ幸せを分け与えることもできるし、楽しそうな人の周りには人が集まるという言葉が心に残った。部活でも同じようなことを言われたことがあるので、楽しく幸せと感じられるように生きようと思った。(Sさん)

イノベーションには、賢い人とそうでない人が必要で、そうでない人も変化するための役に立っていることがわかった。そして、いつかは大多数の人がいつか急激に革新していくのが点で表されているのが分かりやすかった。(Oさん)

ガラクタが集まって新しい意味を持つという話が心に響きました。何となくやっている意味のなさそうなこともこれから意味を成していくのかと思うとわくわくしました。(Sさん)

関係ない、意味がないと思うこともいつかは何らかの形で点と点が繋がり線へ変化していくこともあるということに非常に考えさせられました。私のこれまでの経験や知識がどう線へと変化していくか楽しみです。(Fさん)

イノベーション

なにも取り柄がない人でもたくさんいることでプラスになることがわかった。意味のないことでもやってみることに価値があるということがわかった。(Aさん)

多様性の意味について、考えるきっかけになったと思います。顔も見たくない人と一緒にいるのが多様性とおっしゃっていて、納得させられることが多くありました。(Yさん)

価値観

多様性

多様性は皆を認めると言った部分がイメージの中であったけど、反対に良くないものや自分が嫌なものもまとめて認めるというのが本当の多様性といった意味があると知ることが出来ました。いつも生活を送っている中で色々なことが要求されてそれをこなすことに手一杯になってそれに加えて何かしなくてはいけないと思込んでいたけど、自分のことをまず優先にしていんだと思うことが出来ました。自分が頑張って一生懸命やるって言うことももちろんいいことだけど、結果的には同じことが起きるということを理解出来たので、なんとなくでもいいからとりあえず身を任せるってことも頭に入れておこうと思いました。(Wさん)

多様性とは自分がいいと思ったことではなく価値観が全く違うことを受け入れられること、と聞いて確かにそうかも知れないなと思った。そういう価値観もあるんだなと聞き入れられるようになりたいなと思った。(Yさん)

今、守ろうと言われてる環境は何度も破壊されてきたもので、これが良い状態とも限らないと気づきました。誰かのためと思ってやったことが価値観を押し付けるようなことになってしまうこともあると分かりました。(Aさん)

勝手に貧困の人達は可哀想だと思ってしまうけれど、その人たちはその人たちで幸せなのかもしれないということが心に残った。(Kさん)

自分だけの視点で考えてはいけないんだなと思いました。周りを考えて動くことや、周りを見ることはもう高校生にもなっているので、出来ていることが多いですが、自分以外の他人からの視点で物事を考えることって少ないなと思いました。確かに、周りから見る自分や、自分から見る自分ってだいぶ変わってくるものだとわかりました。これからの探をやる上で、自分の意見ばかりを述べずに、世界から見た視点や、クラスのみんなからの視点、色々比較しながらやるのも面白いなと思いました。(Sさん)

自分の幸せを押し付けないことが大切だとわかりました。自分は貧困をなくしたくて貧しい国を豊かにしようと思っても、その国の人からしたら充分幸せで、余計なお世話かもしれないことがあるとわかりました。多様性を大事にして、さまざまな価値観を持つことが大切だとわかりました。物事を色々な方向から考えるようにしていきたいと思いました。(Wさん)

世の中の仕組みとして正しいものが一つあると考えるのではなく、循環させて持続可能な社会にするという形にしなければならぬ知ることができた。また、多様な発想があることによって新たなことが気づかないうちに生まれるということも大切だと思った。(Yさん)

今は二酸化炭素が増加して環境問題となっているけど、それは人間だけで二酸化炭素を必要としている生物は多いことがわかりました。また、多様性はどんな意見の人も全て受け入れることだと言うことがわかりました。(Mさん)

自分の価値観と相手の価値観は違っていて、自分の考えだけで動いても相手のためにはならないことがわかった。(Tさん)

正義が暴走するという言葉が記憶に残りました。戦争は悪いものという固定概念がありましたが、どちらも正しいと思っているから戦うという選択に陥ってしまうことを知りました。何がつながって線になるのか、今の私には何もわからないので、いろんなことに触れていきたいなと思います。(Yさん)

目の前の事のほとんどを、全うしようとし過ぎて空回ったり、追いかけているうちに目的を見失ったりするので、多方面から多様性に気づいて、考えることで自分の価値観や人間性を成長させたいと思います。(Hさん)

目的を明確にもって取り組むことを求められることが多いけれど、たまには目的なく、気ままに何かやってみるのもいいと思った。やってみた先で、新しい価値観に出会えることもあると気づいた。(Oさん)

初めから全て完璧を目指そうとしなくていいんだと思った。課題が見つかったら解決して次第にいい方向にもっていききたい。(Uさん)

自分を犠牲にしていっていいことをするのはなく、自分が楽しんでるついでに人助けをことでパフォーマンス力の高い影響力のある人になれる。楽しむことが一番大切だと気がついた。(Mさん)

正しさは伝わらない。楽しさはうつるということを理解したので、何もかもが正しいとは思わずに、周りに流されずにいたい！(Eさん)

生き方  
在り方

みんなが幸せになるためには、〇〇しよう。〇〇になろう。ではなく、酒井先生のような好きなことから始めてみる。など身近で抽象的なことでも小さいことから始めようと思いました。(Eさん)



## Giver Matcher Taker

Giver Matcher Takerのうち、多くの方がMatcherだと言っていました。僕自身もMatcherだと思ったので、Giverをめざして積極的な行動を心がけたいと思いました。(Iさん)

今まで自分を犠牲にする方のGiversに対してただ素晴らしいと思っていた。しかし、まず自分が幸せでないという効率が悪いということを講義で聞き、我に返ったような気分になりました。価値観が違うから、私が正しいと思っていることは誰かにとっては全く正しくなく、むしろ悪い。当たり前でしたが、再確認できました。さらに、SDGsに対して一気に解決しなければだめだと、ずっと焦りを感じていましたが、今は一つ一つやっていくべきだと聞いて、すこし落ち着くことができました。(Aさん)

SDGsを達成しようと色んなところでよく聞くけど、一気に全部達成することができないと聞いて、本当に達成することができるのかと思った。でも一個でもいいから達成できるようになにか取り組みたいと思った。(Tさん)

SDGsはすべて同時に達成できるものではなく、まずは自分が幸せになれるように生活していきたいなと思いました。(Mさん)

SDGsの内容の話はよく聞くけど今回はSDGsの全体的な話も聞けたところが面白かった。(Oさん)

社会一般の考えの裏をかくような先生の考え方が、とても興味深かったです。一つの出来事や目標に対して綺麗事だけではなく、色々な視点での考えを持てるようにしたいです。(Sさん)

誰も取り残されないためにはどうしたらいいのか考えさせられました。まずは自分を幸せにして余裕を持たないと、周りも助けられないということに気付かされました。(Kさん)

誰一人おいていかない幸せを考えたときに、自分のことを考えてなかったからまずは自分のことを考えるのが大切だと改めて気付かされました。(Nさん)

酒井先生の講義は重要な一言だけをみんなに見せて、その説明を口頭でしていました。重要な点だけを見せられることでみんなに何を意識して欲しいのかよく伝わりました。あと、みんなに問いかけることが多かったのでこれからの探で発表するとき、みんなに問いかけてみたり、みんなに一番伝えたい一言を見せたりする工夫をしたいと思います。(Tさん)

幸せのおすそ分けの話で、外見上は同じgiverでも、その原動力がなんなのかで、プラスに働くのかどうかが変わるんだと知りました。相手のことを考えたい時もありますが、まずは自分が幸せであるかを考えて、ついで感覚で周りを助けたいです。(Sさん)

## SDGs

SDGsは全体的によくなればいってことがわかった。人を幸せにするにはまず自分が幸せにならなければ意味がないと思った。(Tさん)

SDGsの色が一つ一つ綺麗な色で終わりという訳でなく、最後にその色たちが混ざり合うことがゴールと仰っていて納得しました。(Oさん)

先生が最後に仰っていた、SDGsはゴールではなくスタートだと思っているという言葉が印象的だった。(Aさん)

僕は今までSDGsはいいことしかないと考えていました。しかし、人それぞれ価値観が違うとわかり、押し付けるのはエゴだと思いました。これからは物事の色々な側面を見て、判断し、まずは自分が楽しむことを目標にしていきたいです。(Kさん)

何よりSDGsの色を混ぜたらうんこ色ということが一番衝撃的でした。(Nさん)



▲酒井先生の著書



誰一人として残さないというタイトルでしたが、最初それはみんなが幸せになるという意味で捉えていました。話を聞いたあとも間違いでは無いと思います。しかし、その幸せは何が基準なのか分かりませんでした。それは人によって違い、人を幸せにしたいなら自分が幸せになってからではないとうまくいかないということに気づくことが出来ました。これからは自分がちゃんと自分が幸せであることをはっきりさせてから、たくさんの人のためになる行動をしたいと思います。(Iさん)